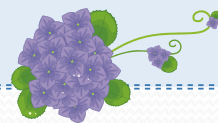


～緊急の御依頼について～

緊急の御依頼は地域医療連携室へお電話ください。患者様の受入れがスムーズに進むよう私ども連携室スタッフが対応させていただきます。当院での受入れの不可の場合は、状況によりグループ医療機関へコンサルトさせていただきます。

地域医療連携室直通(TEL 03-3967-4275)



逆紹介を推進しています！

厚生労働省の医療政策として、全国の病院の約5%にあたる500床以上の急性期病院は、病状が安定した患者さまを地域医療機関に紹介することを推奨しています。

板橋中央総合病院としても579床の急性期病院のため、病状が安定した患者さまの地域医療機関への紹介を推進しています。

今後も当院は地域医療機関との密接な連携のもと、患者さまへの最適な医療の提供に努めていきます。

休日・夜間の急病など
かかりつけ医を受診出来ない場合に受診



病状が安定してきたら
かかりつけ医へ紹介

医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
Tel 03-3967-4275 (地域医療連携室直通)
Fax 03-5914-3222
E-mail renkei.ibh@ims.gr.jp

★通常外来紹介方法

・当院の場合、初診時から予約制の科と予約なしの科がございます。患者様に下記電話番号まで連絡していただきますよう、お伝えください。

代表(TEL03-3967-1181)

★放射線検査予約方法

放射線予約直通(TEL03-3967-1197)までご連絡ください。

・撮影方法、撮影部位についてお聞きします。内容は下記の通りです。

- (1) 医療機関名
- (2) 依頼医師名
- (3) 撮影方法【CT、MRI、RI、骨密度測定(DEXA法)、マンモグラフィー検査】
- (4) 撮影部位
- (5) 造影剤の有無
- (6) 読影レポートの有無
- (7) 撮影予約希望日
- (8) 患者様の氏名、生年月日

※検査結果は、基本的に4～7日で郵送いたします。

当日に検査結果【フィルムまたはCD-R、読影レポート】を患者様にお渡しすることも可能ですので、ご予約の際、ご相談ください。

★生理学検査予約方法

生理学検査予約直通(TEL03-3967-8786)までご連絡ください。

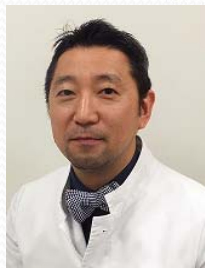
- ・超音波検査(心臓 腹部 頸動脈 甲状腺 下肢動脈)
- ・心電図 ・脳波検査 ・トレッドミル負荷心電図
- ・肺機能検査 ・血圧ホルター心電図
- ・ホルター心電図 ・SCV(知覚神経伝導速度)
- ・ABR(聴性脳幹反応)
- ・マスター負荷心電図 ・ABI(血圧脈波検査)
- ・聴力検査 ・サーモグラフィー
- ・MCV(運動神経伝導速度)などがあります。

※読影レポートを希望される際、検査の内容によって、お届け日が異なりますので、予約時にご相談ください。

読影レポートができる検査とできない検査がございますので、予約時にご相談ください。



外科・消化器外科のご案内



役職	外科主任部長／腹腔鏡手術センター室長
氏名	黒崎 哲也（くろさき てつや）
出身大学	筑波大学 平成3年卒
専門分野	内視鏡外科、腹腔鏡下手術、消化器外科



診療科紹介

科学的根拠に基づいた治療、無駄のない治療、負担・痛み・苦しみのない治療を心掛けているのは当然ですが、治療の主役は患者さまであり、こちらからの押し付けではなく、患者さまそれぞれの価値観や信条を尊重して医療を提供させていただきます。

また、当院外科では24時間365日、常に常勤外科医が診療に当たり、夜間・休日であってもいつでも緊急手術が可能な体制を取っています。

救急部、腹腔鏡手術センターと連携することで、救急医療と低侵襲医療という一見相反する二つの医療を同時に提供できることも当科の大きな特徴です。

今後も皆様に愛される地域基幹病院を目指して、24時間365日いつでも皆様のご要望に応えられるよう日夜研鑽に励んでいく所存です。末永くお付き合いいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

主な対象疾患・検査・治療

主な対象疾患	消化器良性・悪性疾患、病的肥満(2型糖尿病)、ソケイヘルニア、 乳腺・甲状腺疾患、一部の泌尿器疾患(尿管管遺残症、副腎腫瘍)褥瘡など
実施可能な 検査・治療	手術に関しては保険収載されている手術手技は、ほぼ全て行っています。 その他にも消化器がんに対する放射線治療、化学療法、 一部がん患者に対する緩和治療、褥瘡治療、栄養管理など縦断的な診療が可能です。

診療科の特色、診療実績

当科の最大の特徴は、24時間365日体制で常勤医が診療にあたっている事です。そして必要ないつでも通常と同様の血液・画像・内視鏡などの検査を行う事ができ、緊急手術はもちろん緊急透析・呼吸器管理などの集中治療管理までも行います。また、緊急手術であっても適応があればいつでも腹腔鏡下手術が可能で、患者さまの早期回復に大きく寄与しています。

癌診療においては手術、化学療法、放射線治療と癌治療における3本柱が揃い、あらゆる進行度の癌に対しても当院で治療を完結することが可能です。そして、医師のみならず、看護師(認定看護師)、薬剤師、理学療法士、栄養士など、様々な部門が横につながり、NST、緩和治療、褥瘡治療といった専門診療チームを作り、外科医だけでは対応困難な病態に対しても総合的に治療を進めています。

悪性疾患のみならず病的肥満(2型糖尿病)に対する減量手術、逆流性食道炎に対する噴門形成術、肝嚢胞に対する切除術、繰り返す腸閉塞に対する癒着剥離術、直腸脱に対する直腸固定術、尿管管遺残症に対する切除術、潰瘍穿孔などの腹膜炎手術、難治性便秘症に対する大腸全摘術など、他ではあまり扱わない手術も積極的に取り組んでいます。加えて宗教的な理由で輸血が出来ない患者さま、透析が必要な患者さまなど、他院では手術を断られるような患者さまでも可能な限り手術を含めた治療を行っています。

主な手術実績

【癌手術件数】食道癌3件、胃癌30件、大腸癌125件、胆膵癌18件、肝癌(HCC,メタ)11件、乳癌71件、甲状腺癌1件
【その他の主な手術】胆嚢摘出術360件、ソケイヘルニア123件 【緊急手術】292件 【全手術件数】1372件

※増田浩医師は、3月を持ちまして退職致しましたが、今後も当院では、引き続き外科主任部長の黒崎哲也医師を中心に胆石治療を行って参ります。ぜひ、ご紹介ください!!!